一　般　教　育　訓　練　明示書（様式例）

講座の名称	介護職員初任者研修				
実施方法	①　通学　（　昼間　・　夜間　・　土日　）　②　通信　スクーリング				
指定講座番号（15桁）	2722029	―	2510012	―	2
講座の創設年月日 平成31年3月1日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和10年3月31日まで	過去一年の講座実績	入講者数（累積）　（25人）	修了者数	（25人）
訓練期間	2ヶ月		総訓練時間	131時間	

1．　教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護職員初任者研修
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	介護・看護・障がい・保育　求人支援センター　寺田町教室
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	特になし
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	介護業界・医療業界

2．　教育訓練の内容

教科　（カリキュラム）	時間	使用教材名
職務の理解	6	1介護職員初任者研修テキスト
介護における尊厳の保持・自立支援	9	1介護職員初任者研修テキスト
介護の基本	6	1介護職員初任者研修テキスト
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9	1介護職員初任者研修テキスト
介護におけるコミュニケーション技術	6	2介護職員初任者研修テキスト
老化の理解	6	2介護職員初任者研修テキスト
認知症の理解	6	2介護職員初任者研修テキスト
障がいの理解	3	2介護職員初任者研修テキスト
こころとからだのしくみと生活支援技術	75	3介護職員初任者研修テキスト
振り返り	4	123介護職員初任者研修テキスト
修了評価試験	1	

3．　受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	講義・演習に継続して出席できる方
③その他	

一　般　教　育　訓　練　明　示　書（様式例）

4．　教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

（1）資格取得状況

①　前年度内の受講修了者数	25	人			
②　①のうち目標資格の受験者数	25	人	受験率(②/①)	100.0	%
③　②のうち合格者数	25	人	合格率(③/②)	100.0	%
④　上記②・③の回答者数	25	人			

（2）受講修了者による講座の評価等

①　回答者総数		25	人	
②　受講開始時の就業状況等	1　正社員	14	人	②A：就業者計
	2　非正社員、派遣社員	3	人	
	3　その他の就業（自営業等）	1	人	18人
	4　非就業	7	人	②B：非就業者計
③　受講開始前と現在の就業先の変化	1　受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	4	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)
	2　受講開始時の就業先と現在の就業先（自営業等含む）は異	10	人	
	3　受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	4	人	18人
④　受講後の就業形態	1　正社員	15	人	④A：就業者計
	2　非正社員、派遣社員	2	人	
	3　その他の就業（自営業等）	1	人	18人
	4　非就業者	7	人	④B：非就業者計
⑤　受講後の賃金変化	1　３割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)
	2　１割以上３割未満増加した	0	人	
	3　１割未満増加した	10	人	
	4　変わらない	8	人	
	5　１割未満減少した	0	人	
	6　１割以上３割未満減少した	0	人	
	7　３割以上減少した	0	人	18人
⑥　講座の受講の効果	1　処遇の向上（昇進、昇格、資格手当等）に役立つ	4	人	⑥の回答数合計
	2　配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人	
	3　社内外の評価が高まる	0	人	
	4　早期に転職・再就職できる	5	人	
	5　希望の職種・業界に転職・再就職できる	5	人	
	6　より良い条件（賃金等）で転職・再就職できる	4	人	
	7　趣味・教養に役立つ	4	人	
	8　その他の効果	2	人	
	9　特に効果はない	1	人	25人
⑦　受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1　受講中又は受講修了後３か月以内に就職した	1	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2　受講修了後３～６か月以内に就職した	1	人	
	3　受講修了後６～12か月以内に就職した	1	人	
	4　就職していない	0	人	3人
⑧　講座の全体評価	1　大変満足	4	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)
	2　おおむね満足	20	人	
	3　どちらとも言えない	1	人	
	4　やや不満	0	人	
	5　大いに不満	0	人	25人

（3）受講者、受給者の修了後の状況（就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等）

受講者には『自信を持ち、意欲的に介護職をすることができる、処遇の改善に役立つ』と評価を受けている。

5．　教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	スクーリング14日すべて出席、通信課題すべて提出、修了評価試験で評価を出している。各科目の評価ランク（ABCDの4ランク）に従い、Cランク以上（7割以上）を合格点とし到達度を把握して
（通信制講座の場合） スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	実施場所：当センター 実施時期：大阪府への開講申請及び許可に応じて随時。 期間：開講日より2か月。スクーリング14回

6．　修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

（1）既定のカリキュラムをすべて履修すること（14日間のスクーリング）
（2）通信添削課題で合格基準点（全問題数の7割以上）に達すること
（3）修了評価試験を受け、合格基準点（全問台数の7割以上）に達すること

一　般　教　育　訓　練　明　示　書　（様式例）

7．　受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
（1）受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	スクーリング時の質疑応答、希望があればスクーリング後の質疑応答で助言、指導。通信課題については電話、FAX、メールにて質問受付、講師より個別に助言、指導。尚且つ各単元ごとの解説集を添付している。
（2）受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 （例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況）	ハローワークの求人票の掲示、希望者には受講中、修了後も就職相談を行い、受講初日に就職支援の時間を設定し、当社職業紹介事業にて就職におけるバックアップをしている。
8．　その他の事項	

指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社FAN-CTION　（代表者名：岡田　正宣　）
住所及び連絡先	大阪府大阪市天王寺区大道5-7-4　TEL　06-6776-7667
施設名称及び施設長名	介護・看護・障がい・保育　求人支援センター　寺田町教（施設長：岡田　正宣　）
住所及び連絡先	TEL　06-6776-7667
給付制度担当部署・者	株式会社FAN-CTION　（担当者：亀田　瑞希　）
連絡先	TEL　06-6776-7667

一般教育訓練経費	1．　一般教育訓練給付金の対象となる経費　（① + ②）	24,740	円
支払い方法 ①一括払	①入学料　（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。）		円
②分割払	②受講料（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。）	24,740 （うち、必須教材費　4,940	円 円）
③両方可能	2．　一般教育訓練給付金の対象外となる経費　（① + ② + ③ + ④）	0	円
	①　副読本代（税込額）		円
	②　実習等に伴う交通費・宿泊費（税込額）		円
	③　施設維持費（税込額）		円
	④　その他（法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代）　（税込額）		円
	3．　総額　（1 + 2）　（税込額）		円

〔特記事項〕

一　般　教　育　訓　練　明　示　書（様式例）

講座の名称	介護福祉士実務者研修（無資格）				
実施方法	①　通学　（　昼間　・　夜間　・　土日　）　②　通信　スクーリング				
指定講座番号（15桁）	2722029	—	2510022	—	5
講座の創設年月日 平成31年3月1日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和10年3月31日まで	過去一年の講座実績	入講者数（累積）（2人）	修了者数	（1人）
訓練期間	6ヶ月		総訓練時間	457.5時間	

1．　教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護福祉士実務者養成研修
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	介護・看護・障がい・保育　求人支援センター　寺田町教室
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	特になし
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	介護業界・医療業界

2．　教育訓練の内容

教科　（カリキュラム）	時間	使用教材名
医療的ケア	57.5	実務者研修テキスト8
介護過程III	45	実務者研修テキスト5
人間の尊厳と自立	5	実務者研修テキスト1
社会の理解Ⅰ	5	実務者研修テキスト1
社会の理解Ⅱ	30	実務者研修テキスト1
介護の基本Ⅰ	10	実務者研修テキスト2
介護の基本Ⅱ	20	実務者研修テキスト2
コミュニケーション技術	20	実務者研修テキスト3
生活支援技術Ⅰ	20	実務者研修テキスト4
生活支援技術Ⅱ	30	実務者研修テキスト4
介護過程Ⅰ	20	実務者研修テキスト5
介護過程Ⅱ	25	実務者研修テキスト5
発達と老化の理解Ⅰ	10	実務者研修テキスト6
発達と老化の理解Ⅱ	20	実務者研修テキスト6
認知症の理解Ⅰ	10	実務者研修テキスト6
認知症の理解Ⅱ	20	実務者研修テキスト6
障害の理解Ⅰ	10	実務者研修テキスト6
障害の理解Ⅱ	20	実務者研修テキスト6
こころとからだのしくみⅠ	20	実務者研修テキスト7
こころとからだのしくみⅡ	60	実務者研修テキスト7

3．　受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	講義・演習に継続して出席できる方
③その他	

一　般　教　育　訓　練　明　示　書（様式例）

4．　教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

（1）資格取得状況

①　前年度内の受講修了者数	2　人			
②　①のうち目標資格の受験者数	2　人	受験率(②/①)	100.0	%
③　②のうち合格者数	1　人	合格率(③/②)	50.0	%
④　上記②・③の回答者数	2　人			

（2）受講修了者による講座の評価等

①　回答者総数		2　人		
②　受講開始時の就業状況等	1　正社員	2　人	②A：就業者計	
	2　非正社員、派遣社員	0　人		
	3　その他の就業（自営業等）	0　人		2人
	4　非就業	0　人	②B：非就業者計	
③　受講開始前と現在の就業先の変化	1　受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	2　人	③の回答数合計※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2　受講開始時の就業先と現在の就業先（自営業等含む）は異	0　人		
	3　受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0　人		2人
④　受講後の就業形態	1　正社員	2　人	④A：就業者計	
	2　非正社員、派遣社員	0　人		
	3　その他の就業（自営業等）	0　人		2人
	4　非就業者	0　人	④B：非就業者計	
⑤　受講後の賃金変化	1　３割以上増加した	0　人	⑤の回答数合計※④Aと同数(又はそれ以下)	
	2　１割以上３割未満増加した	0　人		
	3　１割未満増加した	2　人		
	4　変わらない	0　人		
	5　１割未満減少した	0　人		
	6　１割以上３割未満減少した	0　人		
	7　３割以上減少した	0　人		2人
⑥　講座の受講の効果	1　処遇の向上（昇進、昇格、資格手当等）に役立つ	2　人	⑥の回答数合計	
	2　配置転換等により希望の業務に従事できる	0　人		
	3　社内外の評価が高まる	0　人		
	4　早期に転職・再就職できる	0　人		
	5　希望の職種・業界に転職・再就職できる	0　人		
	6　より良い条件（賃金等）で転職・再就職できる	0　人		
	7　趣味・教養に役立つ	0　人		
	8　その他の効果	0　人		
	9　特に効果はない	0　人		2人
⑦　受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1　受講中又は受講修了後３か月以内に就職した	0　人	⑦の回答数合計※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2　受講修了後３～６か月以内に就職した	0　人		
	3　受講修了後６～12か月以内に就職した	0　人		
	4　就職していない	0　人		0人
⑧　講座の全体評価	1　大変満足	2　人	⑧の回答数合計※①と同数(又はそれ以下)	
	2　おおむね満足	0　人		
	3　どちらとも言えない	0　人		
	4　やや不満	0　人		
	5　大いに不満	0　人		2人

（3）受講者、受給者の修了後の状況（就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等）

講座修了後に実務経験3年以上の者のほとんどが介護福祉士国家試験を受験する、受講時はほとんどの人が就労しており、そのまま継続して就労しているものが多い。

5．　教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	通信添削課題をすべて提出し合格（基準点7割以上）、スクーリングにすべて出席、修了評価試験に合格（基準点7割以上）することをもって到達度を把握する。
（通信制講座の場合） スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	実施場所：当センター 実施期間：随時。開講日より6ヶ月。 回数：医療的ケア（1日）介護過程（6日）

6．　修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

（1）通信添削課題で合格基準点（全問題数の7割以上）に達すること
（2）修了評価試験を受け、合格基準点（全問台数の7割以上）に達すること

一　般　教　育　訓　練　明　示　書　（様式例）

7.　受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
（1）受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	スクーリング時の質疑応答、希望があればスクーリング後の質疑応答で助言、指導。通信課題については電話、FAX、メールにて質問受付、講師より個別に助言、指導。尚且つ各単元ごとの解説集を添付している。
（2）受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 （例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況）	ハローワークの求人票の掲示、希望者には受講中、修了後も就職相談を行い、受講初日に就職支援の時間を設定し、当社職業紹介事業にて就職におけるバックアップをしている。
8.　その他の事項	

指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社FAN-CTION　（代表者名：岡田　正宣　）
住所及び連絡先	大阪府大阪市天王寺区大道5-7-4　TEL　06-6776-7667
施設名称及び施設長名	介護・看護・障がい・保育　求人支援センター　寺田町教（施設長：岡田　正宣　）
住所及び連絡先	TEL　06-6776-7667
給付制度担当部署・者	株式会社FAN-CTION　（担当者：亀田　瑞希　）
連絡先	TEL　06-6776-7667

一般教育訓練経費	1.　一般教育訓練給付金の対象となる経費　（① + ②）	88,000	円
支払い方法 ①一括払	①入学料　（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。）		円
②分割払	②受講料（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。）	88,000 （うち、必須教材費　17,600	円 円）
③両方可能	2.　一般教育訓練給付金の対象外となる経費　（① + ② + ③ + ④）		円
	①　副読本代（税込額）	0	円
	②　実習等に伴う交通費・宿泊費（税込額）	0	円
	③　施設維持費（税込額）	0	円
	④　その他（法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代）　（税込額）	0	円
	3.　総額　（1 + 2）　（税込額）	88,000	円

〔特記事項〕

一　般　教　育　訓　練　明　示　書（様式例）

講座の名称	介護福祉士実務者研修（初任者研修）				
実施方法	①　通学　（　昼間　・　夜間　・　土日　）　②	通信	スクーリング		
指定講座番号（15桁）	2722029	—	2610022	—	5
講座の創設年月日 平成31年3月1日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和10年3月31日まで	過去一年の講座実績	入講者数（累積）　（7人）	修了者数	（7人）
訓練期間	4ヶ月		総訓練時間	327.5時間	

1．　教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護福祉士実務者養成研修
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	介護・看護・障がい・保育　求人支援センター　寺田町教室
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	特になし
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	介護業界・医療業界

2．　教育訓練の内容

教科　（カリキュラム）	時間	使用教材名
医療的ケア	57.5	実務者研修テキスト8
介護過程Ⅲ	45	実務者研修テキスト5
社会の理解Ⅱ	30	実務者研修テキスト1
介護の基本Ⅱ	20	実務者研修テキスト2
コミュニケーション技術	20	実務者研修テキスト3
介護過程Ⅱ	25	実務者研修テキスト5
発達と老化の理解Ⅰ	10	実務者研修テキスト6
発達と老化の理解Ⅱ	20	実務者研修テキスト6
認知症の理解Ⅱ	20	実務者研修テキスト6
障害の理解Ⅱ	20	実務者研修テキスト6
こころとからだのしくみⅡ	60	実務者研修テキスト7

3．　受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	講義・演習に継続して出席できる方 介護職員初任者研修修了者
③その他	

一　般　教　育　訓　練　明　示　書（様式例）

4．　教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

（1）資格取得状況

①　前年度内の受講修了者数	7	人			
②　①のうち目標資格の受験者数	7	人	受験率(②/①)	100.0	%
③　②のうち合格者数	7	人	合格率(③/②)	100.0	%
④　上記②・③の回答者数		人			

（2）受講修了者による講座の評価等

①　回答者総数		7	人	
②　受講開始時の就業状況等	1　正社員	5	人	②A：就業者計
	2　非正社員、派遣社員	0	人	
	3　その他の就業（自営業等）	0	人	5人
	4　非就業	2	人	②B：非就業者計
③　受講開始前と現在の就業先の変化	1　受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	2	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)
	2　受講開始時の就業先と現在の就業先（自営業等含む）は異	3	人	
	3　受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人	5人
④　受講後の就業形態	1　正社員	5	人	④A：就業者計
	2　非正社員、派遣社員	0	人	
	3　その他の就業（自営業等）	0	人	5人
	4　非就業者	0	人	④B：非就業者計
⑤　受講後の賃金変化	1　３割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)
	2　１割以上３割未満増加した	0	人	
	3　１割未満増加した	2	人	
	4　変わらない	3	人	
	5　１割未満減少した	0	人	
	6　１割以上３割未満減少した	0	人	
	7　３割以上減少した	0	人	5人
⑥　講座の受講の効果	1　処遇の向上（昇進、昇格、資格手当等）に役立つ	4	人	⑥の回答数合計
	2　配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人	
	3　社内外の評価が高まる	0	人	
	4　早期に転職・再就職できる	1	人	
	5　希望の職種・業界に転職・再就職できる	1	人	
	6　より良い条件（賃金等）で転職・再就職できる	1	人	
	7　趣味・教養に役立つ	0	人	
	8　その他の効果	0	人	
	9　特に効果はない	0	人	7人
⑦　受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1　受講中又は受講修了後３か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2　受講修了後３～６か月以内に就職した	1	人	
	3　受講修了後６～12か月以内に就職した	1	人	
	4　就職していない	0	人	2人
⑧　講座の全体評価	1　大変満足	2	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)
	2　おおむね満足	5	人	
	3　どちらとも言えない	0	人	
	4　やや不満	0	人	
	5　大いに不満	0	人	7人

（3）受講者、受給者の修了後の状況（就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等）

講座修了後に実務経験3年以上の者のほとんどが介護福祉士国家試験を受験する、受講時はほとんどの人が就労しており、そのまま継続して就労しているものが多い。

5．　教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	通信添削課題をすべて提出し合格（基準点7割以上）、スクーリングにすべて出席、修了評価試験に合格（基準点7割以上）することをもって到達度を把握する。
（通信制講座の場合） スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	実施場所：当センター 実施期間：随時。開講日より6ヶ月。 回数：医療的ケア（1日）介護過程（6日）

6．　修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

（1）通信添削課題で合格基準点（全問題数の7割以上）に達すること
（2）修了評価試験を受け、合格基準点（全問台数の7割以上）に達すること

一　般　教　育　訓　練　明　示　書　（様式例）

7.　受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
（1）受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	スクーリング時の質疑応答、希望があればスクーリング後の質疑応答で助言、指導。通信課題については電話、FAX、メールにて質問受付、講師より個別に助言、指導。尚且つ各単元ごとの解説集を添付している。
（2）受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 （例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況）	ハローワークの求人票の掲示、希望者には受講中、修了後も就職相談を行い、受講初日に就職支援の時間を設定し、当社職業紹介事業にて就職におけるバックアップをしている。
8.　その他の事項	

指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社FAN-CTION　（代表者名：岡田　正宣　）
住所及び連絡先	大阪府大阪市天王寺区大道5-7-4　TEL　06-6776-7667
施設名称及び施設長名	介護・看護・障がい・保育　求人支援センター　寺田町教（施設長：岡田　正宣　）
住所及び連絡先	TEL　06-6776-7667
給付制度担当部署・者	株式会社FAN-CTION　（担当者：亀田　瑞希　）
連絡先	TEL　06-6776-7667

一般教育訓練経費	1.　一般教育訓練給付金の対象となる経費　（① + ②）	60,500	円
支払い方法	①入学料　（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。）	0	円
①一括払	②受講料（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。）	60,500 （うち、必須教材費　15,400　円）	円
②分割払			
③両方可能	2.　一般教育訓練給付金の対象外となる経費　（① + ② + ③ + ④）		円
	①　副読本代（税込額）	0	円
	②　実習等に伴う交通費・宿泊費（税込額）	0	円
	③　施設維持費（税込額）	0	円
	④　その他（法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代）　（税込額）	0	円
	3.　総額　（1 + 2）　（税込額）	60,500	円

〔特記事項〕

一　般　教　育　訓　練　明　示　書（様式例）

講座の名称	介護福祉士実務者研修（介護職員基礎研修）				
実施方法	①　通学　（　昼間　・　夜間　・　土日　）　②　通信　スクーリング				
指定講座番号（15桁）	2722029	—	2610012	—	2
講座の創設年月日 年　月　日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和10年3月31日まで	過去一年の講座実績	入講者数（累積）　（0人）	修了者数	（0人）
訓練期間	1ヶ月		総訓練時間		57.5時間

1．　教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護福祉士実務者養成研修
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	介護・看護・障がい・保育　求人支援センター　寺田町教室
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	特になし
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	介護業界・医療業界

2．　教育訓練の内容

教科　（カリキュラム）	時間	使用教材名
医療的ケア	57.5	実務者研修テキスト8

3．　受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	講義・演習に継続して出席できる方 介護職員基礎研修修了者
③その他	

一　般　教　育　訓　練　明　示　書（様式例）

4．　教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

（1）資格取得状況

①　前年度内の受講修了者数	0　人			
②　①のうち目標資格の受験者数	0　人	受験率(②/①)	0.0	%
③　②のうち合格者数	0　人	合格率(③/②)	0.0	%
④　上記②・③の回答者数	0　人			

（2）受講修了者による講座の評価等

①　回答者総数		0　人		
②　受講開始時の就業状況等	1　正社員	0　人	②A：就業者計	
	2　非正社員、派遣社員	0　人		
	3　その他の就業（自営業等）	0　人		0人
	4　非就業	0　人	②B：非就業者計	
③　受講開始前と現在の就業先の変化	1　受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	0　人	③の回答数合計※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2　受講開始時の就業先と現在の就業先（自営業等含む）は異	0　人		
	3　受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0　人		0人
④　受講後の就業形態	1　正社員	0　人	④A：就業者計	
	2　非正社員、派遣社員	0　人		
	3　その他の就業（自営業等）	0　人		0人
	4　非就業者	0　人	④B：非就業者計	
⑤　受講後の賃金変化	1　３割以上増加した	0　人	⑤の回答数合計※④Aと同数(又はそれ以下)	
	2　１割以上３割未満増加した	0　人		
	3　１割未満増加した	0　人		
	4　変わらない	0　人		
	5　１割未満減少した	0　人		
	6　１割以上３割未満減少した	0　人		
	7　３割以上減少した	0　人		0人
⑥　講座の受講の効果	1　処遇の向上（昇進、昇格、資格手当等）に役立つ	0　人	⑥の回答数合計	
	2　配置転換等により希望の業務に従事できる	0　人		
	3　社内外の評価が高まる	0　人		
	4　早期に転職・再就職できる	0　人		
	5　希望の職種・業界に転職・再就職できる	0　人		
	6　より良い条件（賃金等）で転職・再就職できる	0　人		
	7　趣味・教養に役立つ	0　人		
	8　その他の効果	0　人		
	9　特に効果はない	0　人		0人
⑦　受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1　受講中又は受講修了後３か月以内に就職した	0　人	⑦の回答数合計※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2　受講修了後３～６か月以内に就職した	0　人		
	3　受講修了後６～12か月以内に就職した	0　人		
	4　就職していない	0　人		0人
⑧　講座の全体評価	1　大変満足	0　人	⑧の回答数合計※①と同数(又はそれ以下)	
	2　おおむね満足	0　人		
	3　どちらとも言えない	0　人		
	4　やや不満	0　人		
	5　大いに不満	0　人		0人

（3）受講者、受給者の修了後の状況（就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等）

講座修了後に実務経験3年以上の者のほとんどが介護福祉士国家試験を受験する、受講時はほとんどの人が就労しており、そのまま継続して就労しているものが多い。

5．　教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	通信添削課題をすべて提出し合格（基準点7割以上）、スクーリングにすべて出席、修了評価試験に合格（基準点7割以上）することをもって到達度を把握する。
（通信制講座の場合） スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	実施場所：当センター 実施期間：随時。開講日より1ヶ月。 回数：医療的ケア（1日）

6．　修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

（1）通信添削課題で合格基準点（全問題数の7割以上）に達すること
（2）修了評価試験を受け、合格基準点（全問台数の7割以上）に達すること

一　般　教　育　訓　練　明　示　書　（様式例）

7.　受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
（1）受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	スクーリング時の質疑応答、希望があればスクーリング後の質疑応答で助言、指導。通信課題については電話、FAX、メールにて質問受付、講師より個別に助言、指導。尚且つ各単元ごとの解説集を添付している。
（2）受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 （例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況）	ハローワークの求人票の掲示、希望者には受講中、修了後も就職相談を行い、受講初日に就職支援の時間を設定し、当社職業紹介事業にて就職におけるバックアップをしている。
8.　その他の事項	

指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社FAN-CTION　（代表者名：岡田　正宣　）
住所及び連絡先	大阪府大阪市天王寺区大道5-7-4　TEL　06-6776-7667
施設名称及び施設長名	介護・看護・障がい・保育　求人支援センター　寺田町教（施設長：岡田　正宣　）
住所及び連絡先	TEL　06-6776-7667
給付制度担当部署・者	株式会社FAN-CTION　（担当者：亀田　瑞希　）
連絡先	TEL　06-6776-7667

一般教育訓練経費	1.　一般教育訓練給付金の対象となる経費　（① + ②）	33,000	円
支払い方法 ①一括払	①入学料　（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。）		円
②分割払	②受講料（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。）	33,000 （うち、必須教材費　2,200	円 円）
③両方可能	2.　一般教育訓練給付金の対象外となる経費　（① + ② + ③ + ④）		円
	①　副読本代（税込額）		0　円
	②　実習等に伴う交通費・宿泊費（税込額）		0　円
	③　施設維持費（税込額）		0　円
	④　その他（法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代）　（税込額）		0　円
	3.　総額　（1 + 2）　（税込額）	33,000	円

〔特記事項〕

一　般　教　育　訓　練　明　示　書（様式例）

講座の名称	介護福祉士実務者研修（ヘルパー2級）				
実施方法	①　通学　（　昼間　・　夜間　・　土日　）　②　通信　スクーリング				
指定講座番号（15桁）	2722029	—	2610032	—	8
講座の創設年月日 年　月　日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和10年3月31日まで	過去一年の講座実績	入講者数（累積）　（1人）	修了者数	（1人）
訓練期間	4ヶ月		総訓練時間		327.5時間

1．　教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	介護福祉士実務者養成研修
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	介護・看護・障がい・保育　求人支援センター　寺田町教室
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	特になし
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	介護業界・医療業界

2．　教育訓練の内容

教科　（カリキュラム）	時間	使用教材名
医療的ケア	57.5	実務者研修テキスト8
介護過程Ⅲ	45	実務者研修テキスト5
社会の理解Ⅱ	30	実務者研修テキスト1
コミュニケーション技術	20	実務者研修テキスト3
介護過程Ⅱ	25	実務者研修テキスト5
発達と老化の理解Ⅰ	10	実務者研修テキスト6
発達と老化の理解Ⅱ	20	実務者研修テキスト6
認知症の理解Ⅰ	10	実務者研修テキスト6
認知症の理解Ⅱ	20	実務者研修テキスト6
障害の理解Ⅰ	10	実務者研修テキスト6
障害の理解Ⅱ	20	実務者研修テキスト6
こころとからだのしくみⅡ	60	実務者研修テキスト7

3．　受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	講義・演習に継続して出席できる方 ヘルパー2級修了者
③その他	

一　般　教　育　訓　練　明　示　書（様式例）

4．　教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

（1）資格取得状況

①　前年度内の受講修了者数	1	人			
②　①のうち目標資格の受験者数	1	人	受験率(②/①)	100.0	%
③　②のうち合格者数	1	人	合格率(③/②)	100.0	%
④　上記②・③の回答者数	1	人			

（2）受講修了者による講座の評価等

①　回答者総数		1	人	
②　受講開始時の就業状況等	1　正社員	0	人	②A：就業者計
	2　非正社員、派遣社員	0	人	
	3　その他の就業（自営業等）	0	人	1人
	4　非就業	0	人	②B：非就業者計
③　受講開始前と現在の就業先の変化	1　受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	1	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)
	2　受講開始時の就業先と現在の就業先（自営業等含む）は異	0	人	
	3　受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人	1人
④　受講後の就業形態	1　正社員	1	人	④A：就業者計
	2　非正社員、派遣社員	0	人	
	3　その他の就業（自営業等）	0	人	1人
	4　非就業者	0	人	④B：非就業者計
⑤　受講後の賃金変化	1　３割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)
	2　１割以上３割未満増加した	0	人	
	3　１割未満増加した	1	人	
	4　変わらない	0	人	
	5　１割未満減少した	0	人	
	6　１割以上３割未満減少した	0	人	
	7　３割以上減少した	0	人	1人
⑥　講座の受講の効果	1　処遇の向上（昇進、昇格、資格手当等）に役立つ	1	人	⑥の回答数合計
	2　配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人	
	3　社内外の評価が高まる	0	人	
	4　早期に転職・再就職できる	0	人	
	5　希望の職種・業界に転職・再就職できる	0	人	
	6　より良い条件（賃金等）で転職・再就職できる	0	人	
	7　趣味・教養に役立つ	0	人	
	8　その他の効果	0	人	
	9　特に効果はない	0	人	1人
⑦　受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1　受講中又は受講修了後３か月以内に就職した	0	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2　受講修了後３～６か月以内に就職した	0	人	
	3　受講修了後６～12か月以内に就職した	0	人	
	4　就職していない	0	人	0人
⑧　講座の全体評価	1　大変満足	0	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)
	2　おおむね満足	1	人	
	3　どちらとも言えない	0	人	
	4　やや不満	0	人	
	5　大いに不満	0	人	1人

（3）受講者、受給者の修了後の状況（就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等）

講座修了後に実務経験3年以上の者のほとんどが介護福祉士国家試験を受験する、受講時はほとんどの人が就労しており、そのまま継続して就労しているものが多い。

5．　教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	通信添削課題をすべて提出し合格（基準点7割以上）、スクーリングにすべて出席、修了評価試験に合格（基準点7割以上）することをもって到達度を把握する。
（通信制講座の場合） スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	実施場所：当センター 実施期間：随時。開講日より4ヶ月。 回数：医療的ケア（1日）介護過程（6日）

6．　修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

（1）通信添削課題で合格基準点（全問題数の7割以上）に達すること
（2）修了評価試験を受け、合格基準点（全問台数の7割以上）に達すること

一　般　教　育　訓　練　明　示　書　（様式例）

7.　受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
（1）受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	スクーリング時の質疑応答、希望があればスクーリング後の質疑応答で助言、指導。通信課題については電話、FAX、メールにて質問受付、講師より個別に助言、指導。尚且つ各単元ごとの解説集を添付している。
（2）受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 （例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況）	ハローワークの求人票の掲示、希望者には受講中、修了後も就職相談を行い、受講初日に就職支援の時間を設定し、当社職業紹介事業にて就職におけるバックアップをしている。
8.　その他の事項	

指定教育訓練実施者名及び代表者名	株式会社FAN-CTION　（代表者名：岡田　正宣　）
住所及び連絡先	大阪府大阪市天王寺区大道5-7-4　TEL　06-6776-7667
施設名称及び施設長名	介護・看護・障がい・保育　求人支援センター　寺田町教（施設長：岡田　正宣　）
住所及び連絡先	TEL　06-6776-7667
給付制度担当部署・者	株式会社FAN-CTION　（担当者：亀田　瑞希　）
連絡先	TEL　06-6776-7667

一般教育訓練経費	1.　一般教育訓練給付金の対象となる経費　（① + ②）	60,500	円
支払い方法	①入学料　（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。）	0	円
①一括払	②受講料（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。）	60,500 （うち、必須教材費　15,400　円）	円
②分割払			
③両方可能	2.　一般教育訓練給付金の対象外となる経費　（① + ② + ③ + ④）		円
	①　副読本代（税込額）	0	円
	②　実習等に伴う交通費・宿泊費（税込額）	0	円
	③　施設維持費（税込額）	0	円
	④　その他（法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代）　（税込額）	0	円
	3.　総額　（1 + 2）　（税込額）	60,500	円

〔特記事項〕
